

令和3年7月20日

小田原市立小学校の保護者の皆様へ

小田原市教育委員会

夏休み期間中の新型コロナウイルス感染症対策の徹底について

保護者の皆様におかれましては、日頃より新型コロナウイルス感染症対策にご理解、ご協力くださり、ありがとうございます。

昨年度は、23日間と例年よりも短かった夏休みでしたが、今年は42日間という長い夏休み期間をご家庭、地域、学習塾等で過ごすことになります。

加えて、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催の影響などで人との接触機会が大きく増大することや、変異株（アルファ株・デルタ株）への置き換わりが進むことに伴い若年層で感染拡大していることなどから、子供たちの夏休み期間中の過ごし方については、昨年度以上に警戒する必要があると指摘されています。

つきましては、次の内容に留意しながら夏休み期間を送るようお子様にご指導いただくとともに、ご家族の皆様におかれましても、感染症対策にご留意いただきながらお過ごしくださるようお願いいたします。

【感染症の予防】

- 咳エチケットや手洗いなどの基本的な感染症対策を徹底する。
- 3つの密（密閉・密集・密接）や感染リスクが高まる「5つの場面（※裏面参照）」を避ける。
- 食事の前後の手洗いを徹底し、会食時の大声の会話・歓談時のマスク着用を徹底する。
- 発熱等の風邪症状がある場合には、外出を控え、自宅で休養する。
- 抵抗力を高めるため、適度な運動、バランスの良い食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける。
- 不要不急の外出を控える。重症化するリスクが高い高齢者や基礎疾患がある方に接する際は、特に注意する。
- 仲の良い友人同士や家庭間の行き来や家族ぐるみの交流による接触を控える。

【各種団体、習い事等での活動】

- 各種大会、コンクール等に参加する場合、練習や試合に付随する飲食等の場面がクラスター発生の原因と考えられることから、警戒度を一層高め、基本的な感染症対策を徹底する。
- 運動時や暑さ指数（WBGT）が高い日には、十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症などの健康被害が発生するリスクがあるため、十分な感染症対策を講じた上で、マスクを外す。

問い合わせ先
小田原市教育委員会
教育指導課 33-1684